

平成27年度 地域連携ネットワーク構築支援事業

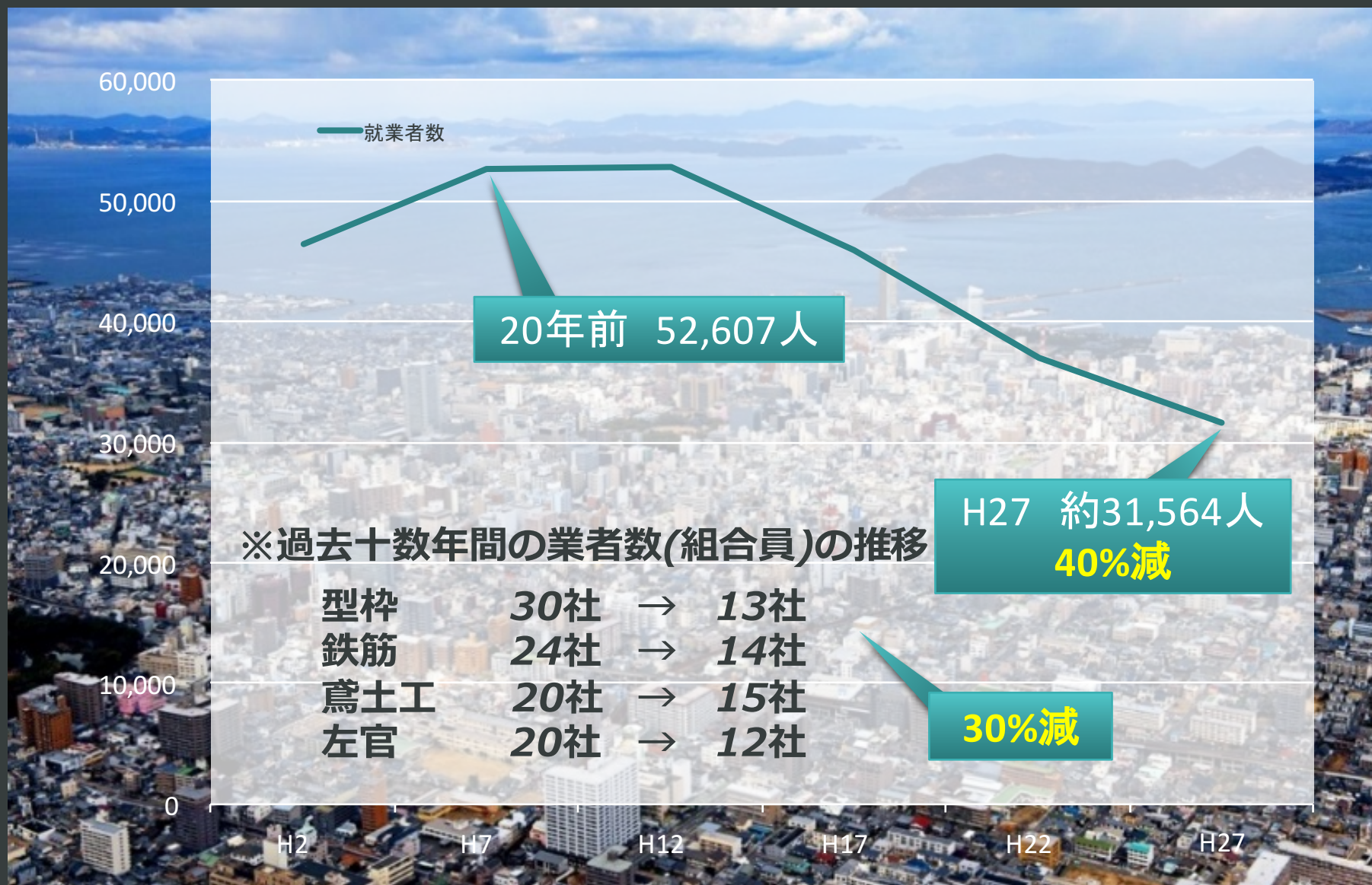
香川県専門工事業担い手確保・育成推進協議会



香川の総人口



香川の建設業における就業者数と業者数



香川県建設専門工事業における人材確保・育成の現状と課題

・香川県内の学校(平成25年)

小学校	184校	児童数	54,116人	
中学校	81校	生徒数	28,779人	内長期欠席者944人
高等学校	42校	生徒数	25,983人	
専修学校	25校	生徒数	4,923人	
各種学校	28校	生徒数	794人	
特別学校	9校	生徒数	1,122人	

高校進学
28,088名
97.6%

大学進学
12,810名
49.3%

建設業関連就業
105名
0.4%

・困難な新卒者確保 – 技能伝承の危機 –

高校生 25,983人の内 建設業に就職 105人

(この内技能者となるのは?)

香川県専門工事業担い手確保・育成推進協議会（スキルアップ協議会）

《 協議会構成員 》

四国建専連（鉄筋）
四国建専連（内装）（日装連理事長）
四国建専連（鳶土工）
四国建専連（型枠）
四国建専連（左官）
社会保険労務士
（一社）匠の学舎アカデミー
（一社）職人育成塾

会長	武田	美治
理事	西浦	光
理事	細谷	芳久
理事	古市	英二
理事	濱崎	貴司
	濱崎	弘
代表	白川	勝
代表	岡村	真史

《 アドバイザー 》

四国地方整備局建政部
香川県土木部土木監理課
ポリテクセンター香川訓練課
一般財団法人建設業振興基金

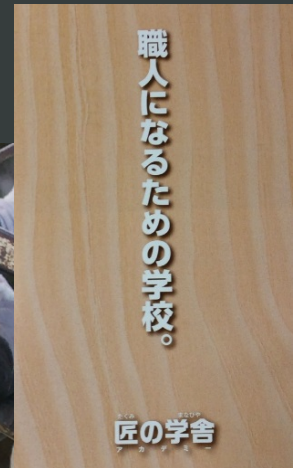
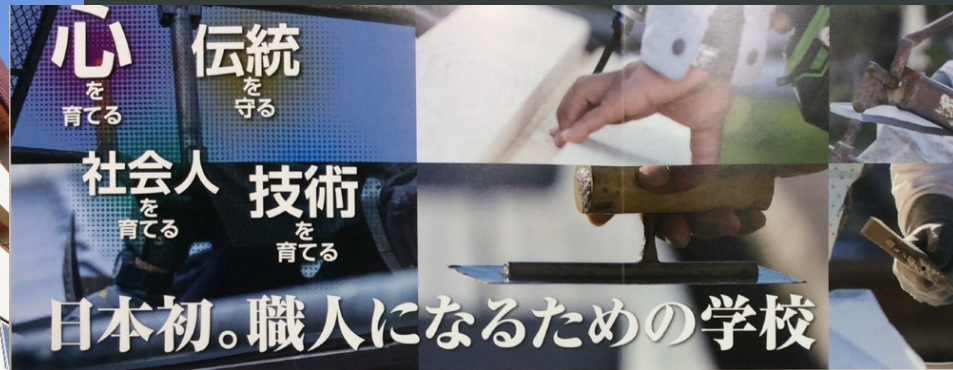


匠の学び舎アカデミー



5年間全寮制の職人育成学校28年春開校!

大工・左官・型枠大工・鉄筋・鳶・土工・塗装
内装などの業者が参画



「職人は親方の元で弟子入りをして腕を磨く」
伝統的な技が伴う職業の多くは従来、
そうして次の世代を育ててきました。
しかしそれだけでは教えられる人数に限りがあります。
当校は多くの建築作業に携わる人間を育成する日本で初めての
「職人になるための学校」です。
また、職人になるための勉強や実技だけではなく、
一般教養や人間としての生き方も併せて学びます。
卒業後、立派な社会人として建築業に携わる人間育成を目指します。

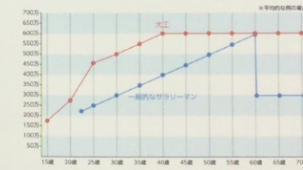


ごあいさつ

この度、誇りを持って「職人育成学校」を立ち上げる運びとなりました。
わが建設業界の現状は、慢性的な職人不足と職人の高齢化が進んでおります。
このままでは、今後更にこの傾向が強まって行くものと考えられます。
そこで若者を建設業界に受け入れる第一ステップとして、「職人育成学校」の設立
しかないとの、考えに至った次第であります。
そして、中学校卒業後、フリーターやニートといった、定職に就かない若者たちを集め、
座学と実技実習にて、一般常識を持った、優秀な職人育成を目指して行きます。
関連業者さんの熱い期待を受けており、卒業後の就職率はほぼ100%であると確信

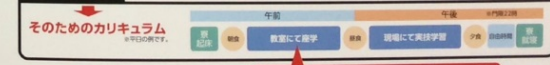
匠の学び舎 技心館
理事長 白川 勝

若い頃から高収入。
高い技術を習得すれば将来年収800万円以上の場合も。



一般的に大工の収入の目安としては見習い日給
~8千円以上、ある程度腕が認められはじめて1.5万円
前後、棟梁クラスで2万円ほどとなっています。技術的
に優れている場合、年収800万円以上稼ぐ大工もいま
います。つまり若いころから高収入だけでなく将来的にも希望
がもてる職業だと言えます。
しかし昨今は、従来の弟子入り制度だけでは限りがあり、
人材不足の問題となってきています。また、建築物に
対するこだわりも高まり、より技術力をもった人材が求め
られています。そんな時だからこそ、今が大工になる
チャンスといえます。

5年間の授業で習得する技術 大工、左官、型枠大工、鉄筋、鳶、土工、塗装、内装、他



勉学とスキル、そして人間的にも成長し、
100%建設関連業に就くことをお約束します。
運送、英語、数学、国語、美術、体育、音楽、情報処理など、
5年間で身につけるべき基礎的な知識やスキルを幅広く取り入れています。

(一社)職人育成塾



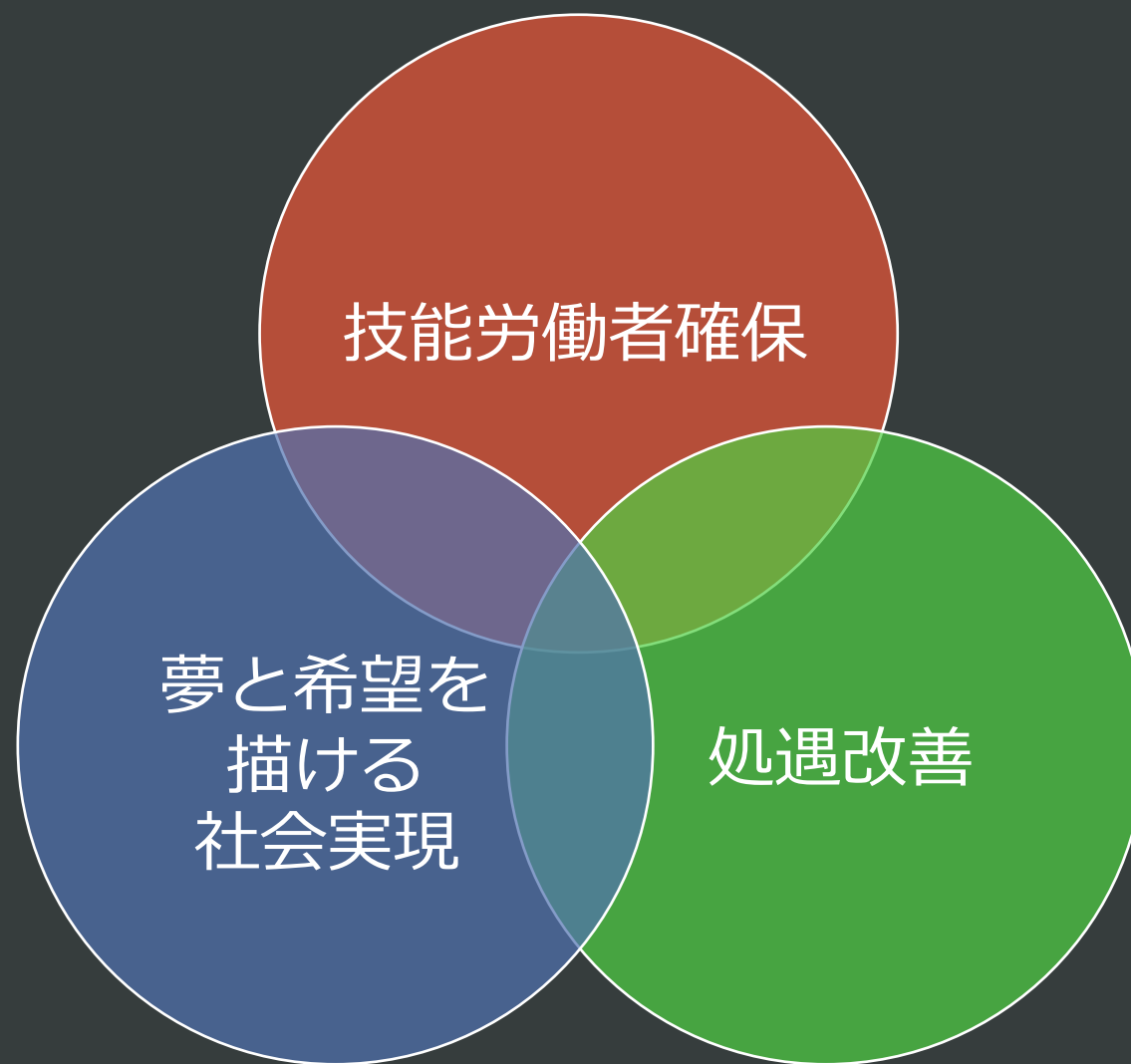
1年間で仕上業種を中心とした職人育成を目指す

廃校となった市立小学校を借り受け、メーカーの協力の下全国から生徒を募集

軽天ボード・内装・タイル・左官・OAフロアー
ウレタン等の11業者が参画



スキルアップ協議会の活動



スキルアップ協議会の活動

技能労働者の確保に対する取り組み

1) アンケートの実施

専門工事業者へのアンケート

離職率、雇用対策、教育の方法、退職理由、労務管理

専門工事業 事業所で働く技能者へのアンケート

就職理由、技能取得、自分の子供に同じ仕事をしてもらいたいかな

一般へのアンケート

建設業への印象、将来の職を決める決めて、
条件が同じなら建設か介護かどちらを選ぶか

スキルアップ協議会の活動

技能労働者の確保に対する取り組み

2) カリキュラムの作成協力

匠の学び舎アカデミー
職人育成塾

建専連会員企業によるOJT受入協力
建専連会員企業による講師派遣協力



スキルアップ協議会の活動

技能労働者の確保に対する取り組み

3) 自衛隊の任期制自衛官(20歳代)、若年定年制自衛官(53歳～56歳)への入職支援



予備役自衛官による
一般企業就職希望数
毎年50名以上

スキルアップ協議会の活動

技能労働者の確保に対する取り組み

4) 香川県高等技術学校での出前講座



スキルアップ協議会の活動

技能労働者の確保に対する取り組み

5) 工業高校建築科での出前講座



スキルアップ協議会の活動

技能労働者の確保に対する取り組み

6) 小中学生へのアプローチ

- ・ 施工中の建設現場で「現場の魅力」とともに「つくる魅力」を伝えていくために現場見学会を実施する。
- ・ 文部科学省が提唱する「土曜学習応援団」に登録し、小学生、中学生を対象に専門工事業の魅力伝える。



スキルアップ協議会の活動

技能労働者の処遇改善のための取り組み

1) 元請団体を訪問して要請活動を行う

専門工事業の「担い手処遇改善」のため、元請団体に対しても、工事発注に当たり、以下の要望事項について傘下企業に周知・徹底していただくよう要望活動を行う

《 要望予定内容 》

- ・ 社会保険未加入業者との差別化及び未加入業者の現場からの排除の厳格な運用
- ・ 重層下請を回避するため、技能者や資機材を抱え、見積能力及び施工能力のある専門工事業者への発注
- ・ 社会保険の原資となる法定福利費の適切な計上
- ・ 施工歩掛等に基づいた現場作業員や技能者の適切な賃金水準の確保
- ・ 短工期とならないような余裕を持った工期による休日の確保
- ・ 安全を確保するために必要な経費の計上

スキルアップ協議会の活動

技能労働者の処遇改善のための取り組み

2) 専門工事業者が取り組むべき技能労働者の処遇改善策を作成する

《 検討内容 》

- ・ 各職別の職能給の整備（職能レベルの設定、資格要件、資格など）
- ・ 職能レベルに応じた給与体系の確立と生涯賃金の提示
- ・ 施工の合理化・効率化（省力化工法、多能工化など）と水平展開
- ・ 重層下請の回避（社会保険未加入企業の排除）
- ・ 技能労働者の施工能力、原価管理能力の向上で生産性を上げる
- ・ 登録基幹技能者の現場での有効活用
- ・ 女性が活躍できるような環境整備

スキルアップ協議会の活動

技能労働者が夢と希望を描ける社会の実現

1) スキルアップ協議会主催の「フレッシュマン合宿」を開催

- ・ 一泊二日で香川県内開催
- ・ 人数は30名程度を想定
- ・ 初日は基調講演、交流会を実施、班編成とする
- ・ 2日目は現場見学を想定
- ・ 実施協力を依頼

2) スキルアップ協議会主催の「職長講習会」を開催

- ・ 1日開催で香川県内で実施
- ・ 人数は30名程度を想定
- ・ 午前中講演、午後交流会を実施
- ・ 講師は元請企業の現場担当者を想定
- ・ 四国建専連と出席企業に実施協力を依頼

平成27年度 地域連携ネットワーク構築支援事業

香川県専門工事業担い手確保・育成推進協議会